

## 前文の作成に向けての事前整理表

事例の基本 パターン による 4つの要素	入れ込むべき内容					総合計画市民会議 基本構想素案より
	事前配付資料1より				第3回代表者会での議論より	
	合併協議会からの提案 (合併協議会提案書からも含む)	市の考え	各班の前文案より	市民会議の議論で 前文にまわすべきとしたもの		
① まちの歴史、文化、 環境や自治の 取り組み					(市民が上越市をどのように捉えているかを確認する意味で) ・14市町村では、それぞれ独自の歴史を刻み、文化を育んできた。 ・合併によりそれらの宝物を持ち寄った。	
② それを発展させた新たな自治のかたちやまちのあるべき姿	・合併後の新しい上越市において、「豊かさ、安らぎ、快適な生活を市民が支えあう自主自立のまちづくり」という基本理念のもとでまちづくりを進めていくためには、今後の上越市における自治のあり方について、市民が認識を共有していくことが極めて重要である。	・自らの地域の基本的な理念やしぐみを地域全体が共有し、それに基づいた地域経営が求められている。	・市民誰もがまちづくりに参画できる。 ・自主・自立のまちづくりを推進する。 ・市民がともに支えあう。 ・豊かな心を育む。	[環境] ・自然環境、景観を保全、保護する。 [安全・安心] (防犯、防災以外) ・あらゆる分野で市民が安全・安心に暮らせるようにする。 ・女性や子どもの心と体を守る。 ・子育てや老後について、安心して過ごせるまちづくりを行う。 [歴史・文化] ・地域の歴史や文化、伝統、自然などの地域資源を尊重し、守り伝える。 ・これらの地域資源を産業振興、文化振興、観光に活かしたまちづくりを行う。 [意識の醸成] ・人を大切にする心や郷土愛、まちづくりに参加する意識を育てる。	・ここから新たにスタートする。 ・条例制定の経過から条例の必然性までを謳う	[まちづくりの基本理念] ・みんなでまちを創っていく ・市民のつながり、支えあいを高めていく ・豊かさ、安らぎを育み、次世代につなげていく [目指す将来都市像] ・海に山に大地に 輝きあふれる自立都市・上越 ～安全・安心で快適なまちを目指して～
③ その実現には市民の主体性、参加・協働が重要であること		・市民と(市議会、)行政がまちづくりの理念について共通の認識を持つ。 ・まちづくりの主体が市民(、市議会、行政)であることを確認する。 ・市民の権利と役割、市議会と行政の責務を明確にする。 ・まちづくりに関する行政の意思決定への市民参画を制度的に保障する。	・まちづくりの主体は市民である。 ・協働のまちづくりを推進する。 ・市民一人ひとりが自ら考え、行動する。			
④ 自治基本条例を制定する意義や目的、市民の決意	・市民の権利と義務など、上越市の自治に関する基本的な事項を分かりやすく総括的に定める。 ・上越市の憲法に当たるものとして、自治に関する基本的な事項を定めることとし、具体的な制度は個別条例に委ねることが適当である。	・合併後の上越市における住民自治の基本的な考え方を明確にする。 ・自主・自立のまちづくりの推進を図る。 ・住民自治の推進を図る。				